

バイオマス
アロイコンパウンド

SEPBIO

塩ビのコンパウンドメーカーとして持つ様々な
配合設計のノウハウと加工混練技術は
信越ポリマーのコア技術であり、これまでもたくさんの
お客様にカスタムコンパウンドの販売をしてまいりました。
塩ビをベースにしたバイオマスアロイコンパウンドの
開発に加えて、塩ビコンパウンドメーカーとして持つ
これらの技術を駆使して、PPやABSなどの
塩ビ以外の汎用樹脂をベースにした
バイオマスアロイコンパウンドの開発も行っています。

塩ビコンパウンドメーカー

だからできることがあります！

塩ビコンパウンドメーカーは バイオマスアロイプラスチックが得意？

塩ビコンパウンドはPVCレジン、可塑剤、安定剤、滑剤、充填剤など複数の原材料を様々な
配合や混練方法によってカスタマイズ、コンパウンディングされたペレットをお客様に成形用
としてご利用いただいています。

もともと多くの種類の原材料を配合する技術や混練する技術を
培ってきた経験があるため、バイオマスアロイプラスチックの配合
混練は塩ビコンパウンドメーカーの得意分野なのです。



バイオマス アロイコンパウンド

SEPBIO

プラスチックとバイオマス素材のコンポジット開発例

合成樹脂	バイオマス素材							
	セルロース系			リグニン	ヘミセルロース	木粉	貝殻粉	藻類
	CMF	CNF	L-CNF					
硬質塩ビ	○	○	○	○	○	○	○	—
軟質塩ビ	○	○	○	○	○	○	—	—
PP	○	○	○	○	—	○	—	○
ABS	○	—	—	○	—	○	—	—
アクリル	—	—	—	—	○	—	—	—
TPO	○	—	—	○	—	○	—	—

○：対応可能 —：開発中

CMF…セルロースマイクロファイバー CNF…セルロースナノファイバー LCNF…リグノセルロースナノファイバー

ベースプラスチック及びバイオマス素材は表中のものに限らずご相談に応じます（例：卵殻、コーヒーかす等）

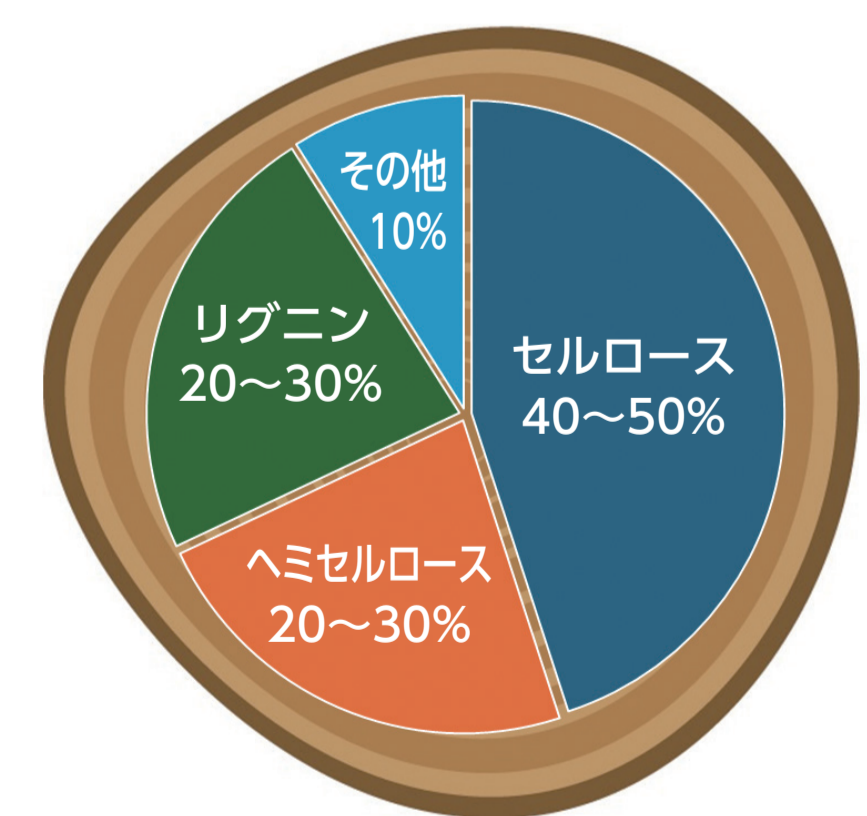
バイオマス素材の特徴

植物を構成する主要三成分「セルロース、ヘミセルロース、リグニン」はサステナブルな社会を作るバイオマス素材として非常に注目されています。

バイオマス素材	主な用途	特徴	コスト
セルロース	紙・繊維・バイオ燃料	乳白色、強度・剛性UP	CNFは高い
ヘミセルロース	キシリトール・バイオ燃料・吸水剤	セルロースと近似	高い
リグニン	黒液としてエネルギー	耐候性UP	安い

コンパウンドメーカーとして
様々なご要望に適した
バイオマスアロイコンパウンドの
提供が可能です。

（例：地産地消を目的とした残渣物の利用など）



植物中の主要三成分の構成比